



2019年5月23日

各 位

会社名 池上通信機株式会社
代表者名 代表取締役社長 清森 洋祐
(コード番号 6771 東証第1部)
問合せ先 取締役上席執行役員
経理統括本部長 小原 信恒
(TEL. 03 - 5700 - 1121)

2019 新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、2019年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定しましたので、その概要をお知らせ致します。

「New Ikegami Way」の飽くなき追求と Quality Innovation の限りなき推進による 事業の成長と安定化を目指す

1. Ikegami グループの経営ビジョン

「New Ikegami Way」

これ迄培ったプロに貢献するプロとしてのモノづくりの「匠の技」を顧客ごとの知見や経験を活かして、真の顧客ニーズを追求し、強い技術・製品をコアとした顧客起点のソリューションビジネスに置き換え、ビジネスを展開し、社会に貢献してゆく

- ◇絶え間ない技術の研鑽に努め、技術革新に果敢に挑戦し続け、技術優位性の確立により、技術で社会に貢献していく。
- ◇顧客満足の限りなき追求により、お客様のニーズを逸早く具現化し、常にお客様の信頼と期待に応え続け、安定した経営基盤の構築を図る。
- ◇その対価を更なる技術力強化の糧とし、技術優位性の向上を図っていくと共に、全てのステークホルダーへの確実なる還元を可能とすべく好循環サイクルを確立していく。
- ◇好循環サイクルを着実に進化させ続け、全世界に技術で貢献するグローバル企業として、利益ある持続的成長、発展していく。

2. 2019 新中期経営計画の目指すべき方向性

- ①2020 年度以降の当社を取り巻く市場環境を見据えた中長期戦略による事業ポートフォリオの再構築、事業構造転換を図り、Quality Innovation（絶え間ない業務品質向上・変革）の飽くなき追求により更なる利益増出構造を確立し、利益ある持続的成長企業として発展していく。
- ②IP&T のコア技術を追求し、更なる次世代新技術の習得およびアライアンス等による、外部技術リソースの有効活用を図り、「真の技術の Ikegami」として技術優位性を確立する。
- ③市場・製品の選択と集中を図り、ハイエンドニッチ市場に特化した高付加価値製品の開発、投入により利益増出を図る。
- ④放送システム事業はベース事業として、安定した売上高・利益を確保し、事業の長期安定化を図る。
- ⑤新たな事業ポートフォリオ構築に向けて、産業システム事業を拡大する。
- ⑥海外事業を安定した利益確保ができる事業構造へ転換し、進化させる。

3. 計数計画（連結）

単位：百万円

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
売上高	26,000	27,000	29,000
営業利益	700	1,000	1,400
経常利益	600	900	1,300
当期純利益	750	800	1,150

4. 主要戦略

①成長戦略

◇技術力高度化（技術優位性の確立）

コア技術である IP&T（Image：撮像、Process：画像処理、Transmission：伝送）の更なる深化と IT 技術力（MoIP, ソフト, AI 他）の強化および、アライアンスによる外部リソースの有効活用により市場優位性の高い差異化製品およびシステムソリューションを提供していきます。

◇放送システム事業の先進的取り組み加速

当社のベース事業として、国内外の放送局・官公庁・公営競技などのハイエンド市場に投入できる先進的技術製品の開発および、4K/8Kの本格的普及に向けた取り組みを加速するとともに、次世代新技術の習得・活用により高度なトータルシステムソリューションの提案強化に取り組んでいきます。

◇産業システム事業の強化・拡大

- ・MS（メディカルソリューション）事業は特に海外事業の拡大と医療機器販売の推進、システムソリューションビジネスの展開を加速して参ります。
また、医療の高度化を背景とした高画質・高精細映像機器のニーズにお応えするため、超高精細映像技術（8K）を用いた先進的な製品の開発、市場投入を推進して参ります。
- ・IS（インスペクションソリューション）事業は既存事業におけるシェア拡大に向けて更なる製品競争力強化と、新たな検査領域市場の開拓を進めて参ります。
- ・SS（セキュリティーソリューション）事業はエリアマーケティング戦略の強化・推進を図りハイエンドニッチ市場に向けた高付加価値製品の拡充により、事業の持続的安定化を図って参ります。

◇海外事業の安定化と事業拡大

放送システム事業はエリアマーケティング戦略を強化・推進し、市場の選択と集中を図り確実なる利益確保に努めて参ります。
また、産業システム事業のグローバル展開を加速し、特にMS事業の拡大のため海外拠点の強化と新市場への参入を推進していきます。

②最適生産構造の追求

多様化・高度化する顧客ニーズに対応する「モノづくり」を実現し、且つ更なる利益増出を可能とすべく最適生産構造を追求し、転換していきます。

③経営基盤の安定化推進

- ・次世代の経営を担う戦略的な人財採用の継続と教育制度の強化推進による人材育成とガバナンス重視の経営による企業体質の強化を図って参ります。
- ・Quality Innovationの推進によるスピーディーでチャレンジ精神旺盛な企業風土の醸成を行っていきます。
- ・積極的な財務施策による効果的資金活用と財務基盤の強化を図って参ります。

*本資料記載の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を基に計画・予想したものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約、保証するものではありません。

以 上